

令和3年度 熊川小学校スクールプラン

児童の実態
 ・何事も真面目に取り組む
 ・友達を大切にしている
 ・切磋琢磨する機会が少ない

保護者や教師の願い
 ・主体的に行動してほしい
 ・自己肯定感を高めてほしい
 ・地域に貢献できる人になってほしい

【校訓】(五条の教え)
反省 素直 努力 奉仕 感謝

【学校教育目標】
自ら考え行動する児童の育成

【めざす学校像】
 笑顔あふれる学校
 安心安全な学校
 地域に愛される学校

【めざす教職員像】
 学び続ける教職員
 プラスαのある教職員
 信頼される教職員

【研究主題】 共によりよく生きようとする子どもの育成
 ～自分のこととして考え、議論する道徳～

【めざす児童像】

よく考える子

人や自分を大切にする子

チャレンジする子

【重点目標】

自分の考えを持ち、表現・行動する力を育てる

やさしさとたくましさ育てる

目標に向かって粘り強く取り組む力を育てる

【具体的取組】

- ・自分の考えと比べながら聴く力を育てる。
- ・自分の考えを表現する場を十分に設定し、積極的に発言できるようにする。
- ・縦割り活動や委員会活動で、児童が創意工夫しながら活動する場面を多く設定する。

- ・いつでもどこでも誰にでも、自分からあいさつができるように指導を工夫する。
- ・いじめ・不登校の未然防止に努める。
- ・食事や睡眠等の基本的な生活習慣の確立に向けた取り組みを行う。
- ・熊川小スマートルールの見直しと徹底を図り、集団で守っていこうとする意識を高める。

- ・学期ごとに自分の目標を設定し、目標に向かって努力する習慣をつけ、可能性を引き出す。
- ・学年ごとに必読図書や目標ページ数を設定し、読書に取り組む。
- ・年間3回の漢字計算テストにおいて、一回で合格できるよう学び方を含めた指導をする。

【数値目標】

- ・自分の考えと同じか違うかを意識しながら聴くことができた。(80%)
- ・授業や全校道徳で自分の考えを発表することができた。(85%)
- ・縦割り活動や委員会活動で、自分で考えたり工夫したりしながら活動することができた。(90%)

- ・進んであいさつをすることができた。(85%)
- ・毎日学校へ行くのが楽しい。(85%)
- ・寝る時刻を守ることができた。(90%)
- ・熊川小スマートルールを守ることができた。(75%)

- ・目標に向かって努力することができた。(85%)
- ・読書で、目標ページ数を達成することができた。(75%)
- ・漢字計算コンテストで合格できるよう努力することができた。(90%)

【家庭・地域との連携】 信頼される学校づくり
 ・家庭や公民館、地域団体との連携の推進 ・地域と共にする学習活動や地域との体験活動の推進 ・学校だよりやブログ等による地域への積極的な情報発信

【業務改善の取組】
 ・時間外業務の削減 ・教職員間の連携と情報共有の促進

慈しみの心

No.620

学びて然るのちに足らざるを知り、
教えて然るのちに困しむを知る。

(『礼記』)

〈解説〉いくつになっても学ぶ心を持ち続けたい。学ぶとこれまでいかに勉強が足りなかったかを知らされる。もっと恥ずかしいことは、知っているつもりで教えていると、いかに内容が貧しかったかを知り、教えるのをやめなくなる。教育の現場にいる人はみな経験されている。限りなく学ぶ心をなくしてはならないと筆者も自省している。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2021.4.1